

宮代一利



35年

みやしろ かずとし

理系サラリーマン

× 地域の達人

25年



1961年 生まれ 57歳 東京都出身 武蔵野市在住歴26年
 1985年 東京大学 工学部卒業
 1985年 三菱鉱業セメント株式会社（現三菱マテリアル）入社
 セメント工場で生産管理を担当、廃棄物リサイクルと出会う
 2009年 日本 CCS 調査株式会社 技術1部 副技術主幹
 地球温暖化防止に向け二酸化炭素貯留の調査検討に従事
 2012年 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）
 主任研究員 宇宙環境利用科学委員会事務局長
 国際宇宙ステーション（ISS）科学実験の検討に従事
 2015年 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
 （NEDO）主査 日本のリサイクル技術を海外に展開する
 事業のプロジェクトマネージャー

「あっ、えっと…池上彰！」難しいことを分かりやすく解説する池上さんに似ているでしょうか？ 私は理系です。理系のよいところは合理的で、分析力に優れているところです。車もリサイクルも、技術があるからできることで、町づくりには欠かすことができません。この独特の感覚を市政に活かしたいと考えています。

「なぜ？」「仕事を辞めてまで」…今年1月末に退職、周りの方々に志を語るたびに聞かれます。その理由は、今の武蔵野市には昔ほどワクワク感がなくて、私の経験・知識、理系の感覚で変えていきたいと思ったからです。今までもボランティアで地域活動をしてきましたが、今後は仕事の片手間ではなく、全力で取り組んでいく所存です。

武蔵野市政をブラッシュアップ



◆ 政策決定過程のコミュニケーションを重視しよう！

「SDG'sを目標に掲げ、スマートシティを構築する」市政の説明は難しいことが多いです。地域の皆さんの頭の中に「ハテナマーク」が浮かんでいるのに、十分な説明をしない、できない場面に出会ったことがたくさんあります。このすれ違いを解決するためには、対話が必要です。私は、家電リサイクル技術を海外に紹介・展開するナショナルプロジェクトに関わりました。優秀な技術も、相手の必要に合わせなければ意味がありません。相手が考える順序、スピードで話を進めることが大切です。計画の開始段階から市民の皆さんと意見交換をして考え方を合わせていく、市政にも通じる有効なやり方ではないでしょうか。

◆ 環境技術の経験と知識を武蔵野で発揮！

廃棄物をリサイクルして発電所の燃料にしてしまうプロジェクトや二酸化炭素の貯留といった環境分野に関わりました。九州のある自治体で、家庭から出る生ごみをすべて「廃棄物固形燃料」にしてしまうことに成功しました。循環型社会の構築は世界規模で進んでいますが、地域の特徴に合った仕組みを作るために、技術に通じた人が、適切な評価を行うことが重要です。また、新しい技術や装置を導入した後も大切に長く使っていくために、市民の皆さんの理解と協力が不可欠です。技術や装置について分かりやすく解説し、政策を身近なものにする役目を果たしたいと思います。

◆ スポーツを通じて地域の絆を深めよう！

20年

応援のつもりが、いつの間にか「自分育て」となったサッカークラブのボランティア・コーチ20年。ほんとうにたくさんのお子たちの成長に立ち会い、喜び悲しみを分かち合ってきました。子どもたちとの付き合いは、その家族との付き合いへ、そして地域との関わりに広がっていきます。地域の絆も深まりました。また、若い世代との交流によって地域の課題に気づく新たな視野を得られ、新鮮なアイデアが生まれます。

- 武蔵野ウイングス サッカークラブ監督（市立第三小学校）
- 武蔵野市サッカー協会少年部企画運営グループ委員
- 東京都少年サッカー連盟第9ブロック 会計



◆ 音楽活動で心のハーモニーを♪

20年

吹奏楽の盛んな武蔵野市。30数年にわたり、子どもたち、学校、家族、地域が育んできました。今では市内12小学校中9校に吹奏楽団があり、残り3校に合唱団があります。これはとても素晴らしいことです。小学生の演奏を聴いてウズウズ、見ているだけじゃつまらない、オジサンたちもやっちゃおう！と結成されたMJOも20年。楽器だけじゃない。声を合わせて作るハーモニーは、みんなの気持ちを柔らかかに。世代をこえた交流が、地域にワクワクを生み出します！

- 武蔵野ジャズオーケストラ ピアノ・トロンボーン担当 宴会部部長
- 混声合唱団コール・コスモ 団員
- 男声合唱団ウォームハートシンガーズ 団員



◆ 世代をこえて人々が助け合う！

10年

子どもが育つにつれ、地域の諸先輩方に声をかけていただき、子どもたちを見守り、環境を整え、育てる活動にもたずさわってきました。活動をする中で、吉祥寺南町の高齢者施設のゆとりえ、そ〜らの家にも何うことが増えました。今では街中で利用者の方と出会って世間話をする仲です。三中学区は高齢化も進んでいます。高齢の方々が住み慣れた地域でいきいきと暮らせ、世代をこえて人々が助け合う町づくりをしていきたいです。

- 武蔵野市開かれた学校づくり協議会委員（市立第三中学校）
- 武蔵野市青少年問題協議会地区委員会委員
- 吉祥寺南町カーニバル実行委員会 副委員長



ワクワクする武蔵野をつくる会

レポート Vol.2

2019年4月 発行 / ワクワクする武蔵野をつくる会 代表 宮代一利

〒180-0003 武蔵野市吉祥寺南町 3-27-20 ☎ 080-2343-1082
 ✉ miyashiro@wakumusa.com HP http://wakumusa.com

